



編集

豊平区役所総務企画課広報係
〒062-8612

豊平区平岸6条10丁目

☎822-2407 ㊚813-3603

とよひら元気印 (第81回)

おりも たけひこ
折茂 武彦 さん (43)

レバンガ北海道選手 背番号9

(株)北海道バスケットボールクラブ代表取締役



▲190cm/77kg。ポジションはガードフォワード G/F。夢は「バスケットボールを野球やサッカーのようにメジャーにすること」。

▶通算8,000得点、500試合出場など前人未達の記録を持ち、リーグ最年長ながら第一線で戦う。武器は3ポイントシュート。

▼子ども向けにバスケットボールアカデミーを開講。育成にも力を入れています。



「バスケットボール選手」「経営者」2つの顔

道内唯一のプロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」。その誕生から今年で3年目、「選手兼経営者」という他に類を見ない挑戦を続けているのが折茂武彦さんです。

日本バスケット界を代表する選手である折茂さんが経営者になったきっかけは、運営会社の経営悪化によるレバンガの前身「レラカムイ北海道」消滅の危機にありました。存続か消滅か、混乱した状況の中で「自分のためにも、北海道と日本バスケット界全体のためにも、このチームを残したい。自分がやるしかない」と決断。運営会社を設立、チームを継承し、前例のない挑戦を始めました。

それからバスケット一色だった生活はガラリと変わりました。「最初はチーム運営のため、スポンサー探しに奔走しました。慣れない仕事で辛い日々が続き、体重が8kgも減りました。周囲の支えがなければとても耐えられなかった」と当時を振り返ります。苦労が実り、2011年8月「レバンガ北海道」が誕生。折茂さんは今も、選手としても経営者としても活躍を続けています。

バスケットボールを通してファンに恩返しを

埼玉県出身の折茂さんがレラカムイ北海道に移籍したのは2007年のこと。その開幕戦、大勢のファンが詰め掛けた会場でプレーして、バスケットへの価値観が変わったと言います。「それまで実業団でプレーしていましたが、ここがホームなんだとあれほど強く実感したことはなかったですね。ファンに喜んでもらえるのが、あんなに良いものだとは知らなかった。選手として続けていけるのはそのおかげ。たくさんの人に応援してもらって、チームを長く存続させて、ファンと北海道へ恩返ししたい。そのためにも勝ちにこだわります」とその思いを熱く語ります。

バスケットボールの魅力は、観客と選手の距離が近いところと話す折茂さん。「生で見る試合は、テレビとは迫力もスピードも段違い。ぜひ一度、その魅力を味わってもらいたいですね」。

レバンガ北海道11月～1月のホームゲーム日程

11/9 (土)・10 (日)	VS 日立東京	真駒内セキスイハイムアイスアリーナ
11/30 (土)・12/1 (日)	VS 千葉ジェッツ	北広島市総合体育館
12/13 (金)・14 (土)	VS つくばロボッツ	北海きたえーる
1/25 (土)・26 (日)	VS 三菱名古屋	月寒グリーンドーム

※チケットなどの詳細は、レバンガ北海道公式ウェブサイト【<http://www.levanga.com>】か、(株)北海道バスケットボールクラブ【☎799-0090】にご確認ください。

豊平区の人口・世帯数

人口 217,208人 (+ 81)
男 101,085人 (+ 37)
女 116,123人 (+ 44)
世帯数 112,273世帯 (+ 60)
(10月1日現在。()内は前月比)

